

多摩川精機（株）に対し、 「復興特区支援利子補給金制度」および 「地域元気プログラム」に基づく融資を実施 ～バリューチェーンコア企業を支援～

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、多摩川精機株式会社（本社：長野県飯田市、代表取締役社長：関 重夫、以下「当社」という。）に対し、「復興特区支援利子補給金制度」および「地域元気プログラム」に基づく融資を実施しました。

「復興特区支援利子補給金制度」とは、東日本大震災の被災地の復興に向けて、地方公共団体（青森県三沢市等）が作成し国の認定を受けた復興推進計画の推進の中核となる事業に必要な融資に対して、国が利子補給金を支給することにより、事業の円滑な実施を支援する制度です。

また、「地域元気プログラム」は、地域ごとの強みや潜在力を活かした成長を後押しする DBJ 独自の取り組みです。東北支店では、「新しい東北の産業創成」というテーマに合致する生産・販売・経営面の先進的・創造的な取り組みを情報面・資金面からサポートしています。

当社は、昭和 13 年に航空計器を製造する軍需工場として創業した後、モーター、センサー、自動制御装置等における高い技術開発力を背景に他分野に進出し、現在では産業機械、次世代自動車、航空宇宙、医療分野の事業を展開しています。独自に蓄積した高い技術力・ノウハウを有していることから、DBJ は当社を「バリューチェーンコア企業(注)」に選定しています。

本事業は、当社が青森県三沢市（以下「本市」という。）において、車載用センサーを製造する既存工場を増設するものです。本事業により、足許増大しているハイブリッド自動車や電気自動車などの車載用機器の需要に応えることで、対象事業者のより一層の価値向上を企図し、本市経済の活力再生のため、本市の中核的産業を担う立地企業の体力強化に向けた投資を支援することにより、本市の地域経済の活性化及び雇用機会の創出を図っています。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、有事における事業継続の推進に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

(注)「バリューチェーンコア企業（以下「VCC」という。）」：DBJが独自に選定

した、売上高1,000億円以下の独立系BtoB製造業（原則）であって、産業自体のサプライチェーン上において、付加価値の源泉となっている企業のこと。DBJでは、2012年度の初選定以降、継続的なコミュニケーションを通じて、金融・情報面からVCCの成長支援に注力しています。

【お問い合わせ先】

東海支店 業務課 電話番号 052-589-6892